

映画「超高速！参勤交代」

くりやま上映会開催

栗山町老人クラブ連合会では、健康づくりと仲間づくりの推進として、「認知症にならない、させない仲間づくり」キャンペーンを昨年度より実施し、各単位クラブでの声かけ運動や、映画「ペコロスの母に会いに行く」の上映会を開催し、好評を博したところです。今年度も、映画上映会を開催し、仲間との交流を図る機会として、町老連と町指定管理者である(株)東総業の共催により、開催することになりました。皆さんの来場をお待ちしています。

(栗老連事務局)

記

1. 上映会日程 11月18日(水)
①10時、②14時30分、③18時30分

みんなのたまご場

まちなかケアラースカフェ

「サンタの笑顔」

・さまざまな世代の方の交流の場となっています。

●場 所：栗山町中央3丁目(役場前)

いきいき交流プラザ

●営業日・時間：月曜日～土曜日
午前9時～午後5時
(日曜・祝日は休館)

※カフェメニューの提供

●電話：0123-172-7889



※現在、カフェで勤務してくれる職員(臨時)を募集しています。
詳しくは、社会福祉協議会事務局(72-1322)まで電話ください。

カフェメニュー

- ・コーヒー
- ・アイスコーヒー
- ・アイ스티ー
- ・紅茶
- ・ケーキ
- ・たいやき
- ・アイスクリーム



ご厚志ありがとうございます ございます

平成27年6月21日以降平成27年9月20日までにお寄せいただいた方

●金一封

栗山ロータリークラブ(小室雅裕会長)様より社会福祉事業へ

田中 輝様(中央4)

より母の逝去に際して

吉田 礼子様(中央3)

より社会福祉事業へ

山田 寿子様(中央4)

より夫の逝去に際して

※社協への寄附金は確定申告時の所得控除の対象になります。



平成27年10月1日発行

発行：社会福祉法人
栗山町社会福祉協議会

〒069-1513 栗山町朝日4丁目9番地36
栗山町総合福祉センター「しゃるる」1階

TEL(0123) 72-1322

FAX(0123) 72-5121

E-Mail k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp

印刷：山東印刷株式会社



愛ちゃん&希望くん
©中央共同基金

先日、地域の避難訓練に参加。震度6強の大地震が発生した想定で、近所の声かけ避難場所への移動訓練を実施。災害は忘れた頃にやってくると言いますが、最近では、東北・北関東における台風18号による大雨の被害、熊本県では阿蘇山の噴火など、被災地では、甚大な被害をもたらしている現状を目の当たりにし、改めて町の防災ガイドブックで、改めて町の防災を確認しました。いざという時の準備をしつかりとしなければと非常用品のリストを確認。

編集後記

くりやま 社協だより

発行 100号

昭和44年から

社会福祉協議会の事業・活動及び福祉全般に関する情報を、地域の皆さんに提供、啓発することを目的に発行しています。



法人設立後第1号 (昭和44年3月)



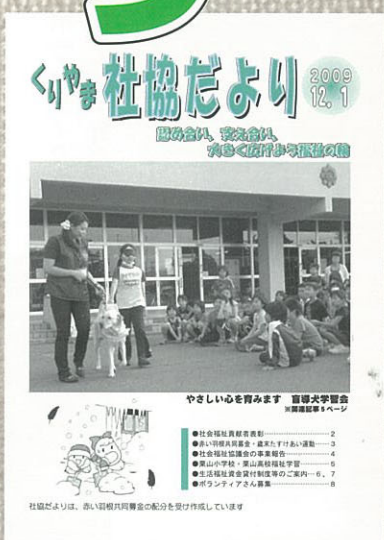
花いっぱい運動 (昭和54年9月)



給食サービス(ボランティア) 栗高生が届け (平成3年3月)



テレビ電話 (平成11年3月)



盲導犬学習会 (平成21年12月)



除雪ボランティア (平成25年3月)

2015.10.1 発行

- 夏休み体験ボランティア……………2
- 傾聴の講演会、話の聴き方講座……………2
- 愛らぶ活動事業……………3
- お知らせ等……………4

夏休み体験ボランティア

社協は、学校の夏休み期間に福祉活動の体験を通して、福祉への理解を深めることを目的に体験ボランティアを開催しました。

栗山中学校、栗山・岩見沢東高校、専門学校の13名（延べ25名）が特別養護老人ホーム彩・栗山いちい保育園・ワークセンター栗の木・児童センター・電話サービス・配食サービス・ペットボトルのキャップリングブルの選別作業の7つのメニューを体験しました。

参加者感想

○ペットボトルキャップ・リングブル選別作業
栗山高校2年 盛 新詞さん

僕は、初めてボランティア活動にしました。

今回の活動では、多様な年齢層の方々が参加して作業をしていることに驚きました。

また、活動中はたくさんの方と話をする機会があったので、とても良い経験でした。

○特別養護老人ホーム彩
栗山中学校3年 山内 夢美さん

私は、中学校生活最後の夏休みにボランティア活動を体験しました。

彩では、介護をすることはとても大変だということを学びました。

1人でどこかへ行くこととお年寄りの方に優しく声をかけたり、熱中症にならないために一定の時間に水分補給などをしたりと、とてもすごく配りがされていることを知りました。

私はこの体験で、お年寄りに対してどのように接したらよいか、どうすれば楽しく話せるようになるかと色々なことを学ぶことができました。

○配食サービス
栗山高校3年 安田 捺規さん

私が配食サービスのボランティアに参加したきっかけは、以前兄が参加した際に楽しかったようで、勧められたからです。

体験では、はじめにボランティアの方たち優しく教えていただき、弁当の調理をしました。

次に弁当を栗山の市街から継立や角田など普段足を運ばない所まで配達と弁当箱の回収をしました。

体験を通して、1人暮らしや車を持っていないお年寄りがこのサービスを利用する便利さや交流の大切さを感じました。

弁当箱の洗い作業が終わった後に、調理した弁当を食べたんですが、栄養や彩りも良く何度食べてもおいしい味でした。



傾聴の講演会、話の聴き方講座



7月2日、「人の話を聴くには」傾聴とは」と題して、講師に臨床心理士の河岸由里子さんを招き、講演会をカルチャープラザ「Eki」で開催しました。

当日は、市民57人が参加され、相手の気持ちに寄り添って話を聴く「傾聴」について学びました。河岸さんは「傾聴とは、ただ聞くのではなく、言葉ひとつひとつの背景に何があるかを考えながら聴くこと」と話され、演習をしながら理解を深めました。

また、7月9日から30日まで「話の聴き方講座」（全4回 受講者23名）を開催し、講師には講演会の河岸氏と苫小牧傾聴ボランティア・アガペーの会代表の千葉重利氏を招き、傾聴の実践活動について理解を深めました。

千葉さんは「演習を中心に実際の具体例を交え、様々な状況での傾聴活動の基本姿勢と技法」についてご講演いただきました。

受講者からは、「相手の話に口を挟まずに待つことの難しさを感じた」、「施設体験ではとても緊張しましたが、相手がにっこりしてくれたので、良かった」などの声がありました。

愛らぶ活動事業

除雪 声かけを地域の方で！

町内会・自治会が実施する地域福祉活動への助成をしています。（地域内の1人暮らしや高齢者世帯で、協力が必要な世帯への除雪や声かけ活動）特に自治会で、近所の方がトラック1等で除雪をされているところは、申請をされている方が多いでしょうか？

活動内容

・除雪（降雪時の玄関から道路までの支援）

※なお、声かけ・見守り活動を含む

助成額

(1)活動を実施する上での運営費 一律5,000円/年

(2)除雪支援活動 4,000円/1世帯

※助成限度額 50,000円/年

◆平成26年度、実施している町内会・自治会

町内会：山の手、中央、道栄、松風第1（4町内会）



自治会：鳩山、御園、阿野呂、円山、南角田、滝下、富士、大井分、杵臼、三日月、旭台（11自治会）

◆申請方法 申請書は社協にあります。

※事業の詳細は社協へ確認ください。



「いきいき講座」のご案内

温かな心の交流を 絵手紙講座

ご家族やご友人など大切な人へ、味わい深い絵や言葉で絵手紙を描き、手紙を送る相手を喜ばせたい方、感謝や温もり、素直な気持ちを相手に（初心者歓迎）

会場

ケアラーズカフェ「サンタの笑顔」

開催日 10月19日、26日、11月2日、9日、16日 ※全て月曜日

時間 午前10時～12時

道員代 500円

定員

10名

講師

倉島 一郎氏
ケアラーズカフェ「サンタの笑顔」
☎72-7889
△10月13日(火)までに
電話で申し込みください。△

